第３講　共通テスト本試験　第４問

第４問

清の学者・政治家阮元（げんげん）は、都にいたとき屋敷を借りて住んでいた。その屋敷には小さいながらも花木の生い茂る庭園があり、門外の喧噪（けんそう）から隔てられた別天地となっていた。以下は、阮元がこの庭園での出来事について、嘉慶（かけい）十八年（一八一三）に詠じた【詩】とその【序文】である。これを読んで、後の問い（問１～７）に答えよ。なお、設問の都合で返り点・送り仮名・本文を省いたところがある。（配点　50）

【序文】

余旧（もと）蔵（スルニ）二董（とう）（注１）思（し）翁（をう）ノ自（ラ）書（セシ）レ詩（ヲ）扇（ヲ）一、有（リ）二「名園」「蝶（てふ）夢（む）」之句一。辛（しん）（注２）未（び）ノ秋、有（リ）三異蝶ノ来（タル）二園中（ニ）一。識者知（リテ）為（シ）二Ⅰ太常仙蝶（ト）一、呼（ベバ）レ之（ヲ）落（ツ）二扇（ニ）一。継（イデ）而(ア)復見（ル）二之（ヲ）於瓜（くわ）（注３）爾（じ）佳（か）氏ノ園中（ニ）一。A客有呼之入匣奉帰余園者、及（ベバ）二至（リテ）レ園（ニ）

啓之、則空匣（注4）也。壬申（注5）春、蝶復見於
余園台上。画者祝曰、B「苟近我、我当
図之。」蝶落其袖、審（イ）視良久、得（ウ）其形
色、乃従容（注6）鼓翅而去。園故無名也。
於是始以思翁詩及蝶意名之。秋
半、余奉使出都、是園又属他人。
回憶芳叢、真如夢矣。

【詩】

春城花事（注7）小園多　幾度看花幾度 [X]

花為我開留我住　人随春去C奈春何

メモ欄

思翁夢ハ好(よ)クシテ遺シ二書扇ヲ一

仙蝶図成リテ染ム二袖羅ヲ一

他日誰(た)ガ家カ還(ま)タ種(う)ヱレ竹ヲ

（注8）坐シテレ輿(こし)ニ可キレ許スニ子猷(しいう)ノ過(よぎ)ルヲ一

（阮元『揅経室集(けんけいしつしゅう)』による）

（注）1　董思翁――明代の文人・董其昌(とうきしょう)（一五五五―一六三六）のこと。
2　辛未――清・嘉慶十六年（一八一一）。
3　瓜爾佳――満州族名家の姓。
4　空匣――空の箱。
5　壬申――清・嘉慶十七年（一八一二）。
6　従容――ゆったりと。
7　花事――春に花をめでたり、見て歩いたりすること。
8　坐レ輿可レ許二子猷過一――子猷は東晋・王徽之(おうきし)の字(あざな)。竹好きの子猷は通りかかった家に良い竹があるのを見つけ、感嘆して朗詠し、輿(こし)に乗ったまま帰ろうとした。その家の主人は王子猷が立ち寄るのを待っていたので、引き留めて歓待し、意気投合したという故事を踏まえる。

メモ欄

問１　波線部(ア)「復」・(イ)「審」・(ウ)「得」のここでの意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は［1］～［3］。

(ア)「復」［1］
① なお
② ふと
③ じっと
④ ふたたび
⑤ まだ

(イ)「審」［2］
① 正しく
② 詳しく
③ 急いで
④ 謹んで
⑤ 静かに

(ウ)「得」［3］
① 気がつく
② 手にする
③ 映しだす
④ 把握する
⑤ 捕獲する

問２　傍線部A「客有呼之入匣奉帰余園者」について、返り点の付け方と書き下し文との組合せとして最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。解答番号は **4** 。

① 客有㆔呼㆑之入㆓匣奉㆒帰㆓余園㆒者　　客に之を呼び匣（はこ）に奉じ入るること有りて余の園に帰る者あり

② 客有㆓呼㆑之入㆑匣奉帰余園者㆒　　客に之を呼び匣に入れ奉じて帰さんとする余の園の者有り

③ 客有㆘呼㆓之入㆒㆑匣奉帰㆓余園㆒者㆖　　客に之を匣に入れ呼び奉じて余の園に帰る者有り

④ 客有㆘呼㆑之入㆑匣奉帰㆓余園㆒者㆖　　客に之を呼びて匣に入れ奉じて余の園に帰さんとする者有り

⑤ 客有㆑呼㆑之入㆑匣奉㆑帰㆓余園者㆒　　客に之を呼ぶこと有りて匣に入れ余の園の者に帰すを奉ず

問３　傍線部Ｂ「苟近レ我、我当レ図レ之」の解釈として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は［５］。

① どうか私に近づいてきて、私がおまえの絵を描けるようにしてほしい。
② ようやく私に近づいてきたのだから、私はおまえの絵を描くべきだろう。
③ ようやく私に近づいてきたのだが、どうしておまえを絵に描けるだろうか。
④ もし私に近づいてくれたとしても、どうしておまえを絵に描けただろうか。
⑤ もしも私に近づいてくれたならば、必ずおまえを絵に描いてやろう。

問４　空欄 X に入る漢字と【詩】に関する説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 6 。

① 「座」が入り、起承転結で構成された七言絶句。

② 「舞」が入り、形式の制約が少ない七言古詩。

③ 「歌」が入り、頷聯（がんれん）と頸聯（けいれん）がそれぞれ対句になった七言律詩。

④ 「少」が入り、第一句の「多」字と対になる七言絶句。

⑤ 「香」が入り、第一句末と偶数句末に押韻する七言律詩。

問5　傍線部C「奈レ 春 何」の読み方として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は［7］。

① はるもいかん
② はるにいづれぞ
③ はるにいくばくぞ
④ はるをなんぞせん
⑤ はるをいかんせん

問6　**【詩】**と**【序文】**に描かれた一連の出来事のなかで、二重傍線部Ⅰ「太常仙蝶」・Ⅱ「仙蝶」が現れたり、とまったりした場所はどこか。それらのうちの三箇所を、現れたりとまったりした順に挙げたものとして、最も適当なものを次の①〜⑤のうちから一つ選べ。解答番号は［8］。

① 春の城（まち）――袖――瓜爾佳氏の庭園
② 春の城（まち）――阮元の庭園の台――画家の家
③ 董思翁の家――扇――画家の家
④ 瓜爾佳氏の庭園――扇――袖
⑤ 扇――阮元の庭園の台――袖

問７　**【詩】**と**【序文】**から読み取れる筆者の心情の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は［9］。

① 毎年花が散り季節が過ぎゆくことにはかなさを感じ、董思翁の家や瓜爾佳氏の園に現れた美しい蝶(ちょう)が扇や絵とともに他人のものとなったことをむなしく思っている。

② 扇から抜け出し庭園に現れた不思議な蝶の美しさに感動し、いずれは箱のなかにとらえて絵に描きたいと考えていたが、それもかなわぬ夢となってしまったことを残念に思っている。

③ 春の庭園の美しさを詩にできたことに満足するとともに、董思翁の夢を扇に描き、珍しい蝶の模様をあしらった服ができあがったことを喜んでいる。

④ 不思議な蝶のいる夢のように美しい庭園に住んでいたが、都を離れているあいだに人に奪われてしまい、厳しい現実と美しい夢のような世界との違いを嘆いている。

⑤ 時として庭園に現れる珍しい蝶は、捕まえようとしても捕まえられない不思議な蝶であったが、その蝶が現れた庭園で過ごしたことを懐かしく思い出している。

第３講　共通テスト追試験　第４問

第４問

唐の王宮の中に雉(きじ)が集まってくるという事件が何度も続き、皇帝である太宗(たいそう)は何かの前触れではないかと怪しんで、臣下に意見を求めた。以下は、この時に臣下の褚遂良(ちょすいりょう)が出した意見と太宗の反応とに対する批評である。これを読んで、後の問い（問１～６）に答えよ。なお、設問の都合で本文を改め、返り点・送り仮名を省いたところがある。（配点　50）

遂良曰ハク、「昔秦(注1)ノ文公ノ時、童子化シテ為ルレ
雉(きじ)ト。雌ハ鳴キ二陳(注2)倉ニ一、雄ハ鳴ク二南(注3)陽ニ一。童子曰ハク、『得ルレ
雄ヲ者ハ王タリ、得ルレ雌ヲ者ハ覇タリト。』文公遂ニ雄(ゆう)タリ二諸侯ニ一。
陛(注4)下ハ本(もと)封ゼラルレ秦ニ、故ニ雄雌並ビニ見(あら)ハレ、以テ告グト二明
徳ヲ一」。上(注5)(しやう)説(よろこ)ビテ曰ハク、「A人 [X] 以無学、遂良ハ所

メモ欄

謂多識君子哉。」

予以謂、秦雉陳宝也、B豈常雉乎。

今見雉、即(ア)為之宝、猶得白魚、便自比武王。此諂妄之甚、愚瞽其君、而太宗善(イ)之、史不譏焉。C野鳥無故数入宮、此乃災異。D使魏徴在、必以高宗鼎耳之祥、諫也。遂良非不知此、捨鼎雉而取陳宝、E非忠臣也。

（蘇軾『重編東坡先生外集』による）

（注）
1　秦文公――春秋時代の諸侯の一人で、秦の統治者。
2　陳倉――地名。現在の陝西省にあった。
3　南陽――地名。現在の河南省と湖北省の境界あたりにあった。

メモ欄

4　陛下本封レ秦 ―― 太宗は即位以前、秦王の位を与えられていた。唐の長安も春秋時代の秦の領地に含まれる。

5　上 ―― 太宗。

6　陳宝 ―― 童子が変身した雉を指す。

7　猶下得二白魚一、便自比中武王上 ―― 周の武王が船で川を渡っていると、白い魚が船中に飛び込んできた故事を踏まえる。その後、武王は殷（いん）を滅ぼして周王朝を開き、白魚は吉兆とされた。

8　諂妄 ―― こびへつらうこと。

9　愚瞽 ―― 判断を誤らせる。

10　史 ―― 史官。歴史書編集を担当する役人。

11　魏徴 ―― 太宗の臣下。

12　高宗鼎耳之祥 ―― 殷の高宗の祭りの時、鼎（かなえ）（三本足の器）の取っ手に雉がとまって鳴き、これを異変と考えた臣下が王をいさめた故事。後に見える「鼎雊」もこれと同じ。「雊」は雉が鳴くこと。

メモ欄

問１　波線部(ア)「即」・(イ)「善」のここでの意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は［１］・［２］。

(ア)「即」［１］
① かえって
② そこではじめて
③ すぐに
④ そのときには
⑤ かりに

(イ)「善」［２］
① 崇拝する
② 称賛する
③ 整える
④ 得意とする
⑤ 親友になる

問２　傍線部Ａ「人 X 以 無 学」について、空欄 X に入る語と書き下し文との組合せとして最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 3 。

① 須　　人須らく以て学無かるべし
② 不如　人以て学無きに如かず
③ 不可　人以て学無かるべからず
④ 猶　　人猶ほ以て学無きがごとし
⑤ 不唯　人唯だ以て学無きのみにあらず

問３　傍線部Ｂ「豈 常 雉 乎」の解釈として最も適当なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。解答番号は［４］。

① きっといつもの雉だろう
② どうして普通の雉であろうか
③ おそらくいつも雉がいるのだろう
④ なんともありふれた雉ではないか
⑤ なぜ普通の雉なのだろう

問4　傍線部C「野 鳥 無 故 数 入 宮」について、返り点の付け方と書き下し文との組合せとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は［5］。

① 野 鳥 無レ 故レ 数レ 入レ 宮　　野鳥宮に入るを数ふるに故（ゆゑ）無し

② 野 鳥 無二 故 数一 入レ 宮　　野鳥故（ことさら）に数ふる無く宮に入る

③ 野 鳥 無レ 故 数 入レ 宮　　野鳥故（ゆゑ）無くして数（しばしば）宮に入る

④ 野 鳥 無 故 数 入レ 宮　　野鳥無きは故（もと）より数（しばしば）宮に入ればなり

⑤ 野 鳥 無二 故 数 入一レ 宮　　野鳥故（ことさら）に数（しばしば）宮に入ること無し

問５　傍線部D「使二魏徴在一、必以二高宗鼎耳之祥一諫也」とあるが、次の【資料】は、魏徴が世を去ったときに太宗が彼を悼んで述べた言葉である。これを読んで、後の(ⅰ)・(ⅱ)の問いに答えよ。

【資料】

夫レ以テレ銅ヲ為セバレ鏡ト、可ク三以テ正ス二衣冠ヲ一、以テレ古ヲ為セバレ鏡ト、可ク三以テ知ル二興(注1)替ヲ一、以テレ人ヲ為セバレ鏡ト、可シ三以テ明ラカニス二得失ヲ一。朕常ニ保チ二此ノ三ノ鏡ヲ一、以テ防グ二己ノ過チヲ一。今魏徴殂(そ)(注2)逝(せいし)シ、遂ニ亡(うしな)フ二一ノ鏡ヲ一矣。

（『旧唐書(くとうじょ)』による）

（注）１　興替——盛衰。
　　　２　殂逝——亡くなる。

(i) 波線部「得　失」のここでの意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は [6] 。

① 人の長所と短所
② 自国と他国の優劣
③ 臣下たちの人望の有無
④ 過去の王朝の成功と失敗
⑤ 衣装選びの当否

(ii) 【資料】から、傍線部Ｄ「使魏徴在必以高宗鼎耳之祥諫也」と述べられた背景をうかがうことができる。この【資料】を踏まえた傍線部Ｄの解釈として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は [7] 。

① 鏡が物を客観的に映しだすように、魏徴は太宗に決してうそをつかなかったから、彼なら「高宗鼎耳」の故事を引用し、事件を誤解している太宗に真実を話しただろう。
② 鏡で身なりを点検するときのように、魏徴は太宗の言動に目を光らせていたから、彼なら「高宗鼎耳」の故事を引用し、事件にかこつけて太宗の無知をたしなめただろう。
③ 鏡に映った自分自身であるかのように、魏徴は太宗のことを誰よりも深く理解していたから、彼なら「高宗鼎耳」の故事を引用し、事件で悩む太宗に同情して慰めただろう。
④ 鏡が物のありのままの姿を映すように、魏徴は太宗に遠慮せず率直に意見するから、彼なら「高宗鼎耳」の故事を引用し、事件を機に太宗に反省するよう促しただろう。
⑤ 鏡が自分を見つめ直す助けとなるように、魏徴は歴史の知識で太宗を助けてきたから、彼なら「高宗鼎耳」の故事を引用し、事件にとまどう太宗に知恵を授けただろう。

問6　傍線部**E**「非㆓忠臣㆒也」とあるが、そのように言われる理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 8 。

① 褚遂良は、事件をめでたい知らせだと解釈して太宗の機嫌を取ったが、忠臣ならば、たとえ主君が不機嫌になるとしても、厳しく忠告して主君をより良い方向へと導くべきだったから。

② 褚遂良は、事件から貴重な教訓を引き出して太宗の気を引き締めたが、忠臣ならば、たとえ主君が緊張を解いてしまうとしても、主君の良い点をほめて主君に自信を持たせるべきだったから。

③ 褚遂良は、事件は過去にも例があり珍しくないと説明して太宗を安心させたが、忠臣ならば、たとえ主君が不安を感じるとしても、事件の重大さを強調して主君に警戒させるべきだったから。

④ 褚遂良は、事件と似た逸話を知っていたおかげで太宗を感心させたが、忠臣ならば、たとえ主君から聞かれていないとしても、普段から勉強して主君の求めに備えておくべきだったから。

⑤ 褚遂良は、事件の実態を隠し間違った報告をして太宗の注意をそらしたが、忠臣ならば、たとえ主君から怒られるとしても、本当のことを伝えて主君に事実を教えるべきだったから。

■ 共通テスト本試験

問題番号（配点）	設　問	解答番号	正　解	配　点
第４問（50）	1	1	4	4
		2	2	4
		3	4	4
	2	4	4	7
	3	5	5	7
	4	6	3	5
	5	7	5	5
	6	8	5	6
	7	9	5	8

■ 共通テスト追試験

問題番号（配点）	設　問	解答番号	正　解	配　点
第４問（50）	1	1	3	4
		2	2	4
	2	3	3	7
	3	4	2	7
	4	5	3	7
	5	6	1	5
		7	4	8
	6	8	1	8